

2014年3月20日

於：本郷体育館

東洋学園理事長 江澤雄一

卒業式祝辞

東洋学園大学の卒業生の皆さん、大学院で学位を授与された皆さん、そしてご両親、ご家族の皆様、今日は本当におめでとうございます。私は本学の理事長としてこの栄あるご卒業の日に一言お祝いを申し上げたいと思います。

卒業生の皆さんがこれから舟をこぎ出す外海の世界はどうなっているでしょうか。日本の経済は今のところアベノミックスの経済政策が功を奏し、企業の業績も好調で、将来に向けて明るい見通しが広がっているように思われます。しかし、少し長期的にみると、日本はすでに人口減少の時代に入っており、今後、大幅な経済成長が期待できないことは明らかです。そこで先見性のある企業は、大企業も中小企業もこぞって海外進出にのりだしています。国内の1億人のマーケットにとらわれることなく、世界に目を向ければ70億人のマーケットがあるからです。

日本の企業が欧米やアジアで現地に工場を建設したり、地元企業を買収したりする動きはこれから益々活発になることでしょう。その時の問題は現在の日本の企業には海外で現地の関係先と折衝できるような国際人材が不足しているということです。企業が海外展開するには、国際語である英語で意思疎通ができ、現地の文化や風習を理解し、ビジネスの交渉ができる人材がどうしても必要になります。そこで今やわが国では国をあげてグローバル人材育成の必要性が叫ばれるようになってきました。

すこし前のことになりますが、今年の初めにサッカーの本田圭佑選手がイタリアのACミランに入団して、背番号10番をもらい喜びの記者会見をしていたのを覚えていると思います。本田は記者会見を英語でこなし、彼のACミラン入団にかける意気込みを現地の報道陣に直接アピールしていました。そのせいか地元のいろいろなメディアでもずいぶん大きくとりあげられたようです。彼の英語は決して流暢ではありませんが、彼が小学生の時にACミランで10番をつけてプレーしたいという夢を抱いていて、その夢が今実現した、**Dream come true** と話した時は記者団も一瞬シーンとしたように思いました。

外国でプレーするには監督からの指示を理解しなければならないし、同僚との意思疎通も必要だし、ファンの応援にも応えなければいけないわけですから、運動選手であってもプレーの実力だけでなく、コミュニケーションのための語学力や人間関係がとても重要だ

と思います。これはビジネスはもちろん、芸術活動でもボランティア活動でも同じことが言えると思います。

東洋学園は以前から英語教育と教養教育に力を入れて、国際的に活躍できる人材を育てることを目指してきました。英語教育や教養教育については学部共通の科目を設定し、どの学部に入っても最低限の基礎的な内容は履修できるようになっています。これは英語のきれいな学生さんにはきつかったかもしれませんが、本学の卒業生であれば、社会に出てから国際的な場面に遭遇しても、一定の対応ができるようになることを願うことです。

また、この4月の新年度からは本学で国際キャリア・プログラムという新しい制度が発足します。このプログラムに合格した学生は英語や教養教育の特訓を受けたあと、1年間の海外学部留学を義務づけられており、卒業後は国際機関や国際ビジネスで活躍してくれることを期待しています。もちろん自分の力を高めていく上で限界はありません。今日卒業される皆さんも社会に出てからいろいろな可能性にチャレンジしてほしいと思います。企業によっては社員向けに海外留学制度を設けているところもあるし、海外支店での勤務のチャンスがあれば積極的に手をあげてほしいと思います。

日本の現在の社会はたしかに安全で快適で恵まれているかもしれませんが、日本の将来を見据えると、日本の中にとじこもってはい今後の発展はないということを強く感じます。今の経済的な豊かさを維持していくこともできなくなると思います。現在の日本は経済的に安定した民主主義国家であるというよいイメージがあるのですから、今こそ世界とのつながりを深め、日本の存在感を高めていくことが必要です。それを担うのは卒業生の皆さん、あなたたちです。どの分野でもよいのです。日本が国際的に展開していく中で、その先頭に立って世界にチャレンジしてほしいのです。それが次の時代の日本を担う皆さんへ今日私からお願いしたいことです。

学生生活を終え、社会人として巣立っていく皆さんには本学の教職員みなが幸多かれと祈っています。また、先輩の卒業生にもいろいろな分野で活躍している人が沢山居ます。東洋学園の先輩、同僚、後輩のこの絆を大事にしてお互いのつながりを育てていって下さい。そして本学と卒業生とのネットワークがいずれ大きな力になることを期待しています。

では皆さんお元気で。今後のご活躍をお祈りしています。